

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス オペラLABO				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		1Fと2Fに活動スペースがあるため、活動内容に応じて、分かれて、活動できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		常に利用定員10名に対し、3人の児童指導員に加え、パート職員、運転手を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		収納スペースや手洗いなど、わかりやすく配置されている。	段差や階段はあるので、移動の際は、安全に配慮する必要がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		落ち着いたインテリアで、照明、掲示物にもこだわり、居心地のよい空間となっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーティションで区切ることのできるスペースがあり、必要に応じて使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎朝のミーティングで日々の業務の確認を行い、業務終了時にも振り返りを行っている。月1回の、全事業所でのミーティングで課題の共有や目標設定を行っている。	職員全員に課題の共有ができるよう、仕組みをさらに整えていきたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年1回行っている保護者評価を全職員に共有し、改善点については、会議で話し合い、改善している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングや面談の機会を設け、職員の意見を把握し、よりよくすることにつなげている。また常に意見しやすい環境を整えている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		有識者による評価をもとに業務改善している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		スタッフミーティングや社内研修、外部での研修の機会を多く設けている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		他にはない独自のプログラムで支援を行い公表している。独自のプログラムや、発表する機会、展示会への参加は保護者からも大変喜ばれている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者に記入いただいた、フェイスシートやアセスメントシート、面談時に把握したニーズをもとに支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全スタッフで支援会議を行い、計画を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画は全スタッフに共有し、計画に沿った支援を行っている	勤務日数の少ないパート職員にも共有できる仕組みをさらに整えたい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたツールを使用しつつ、独自の観点からもアセスメントを行っている。	さらに新たなツールの導入を検討していきたい	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人支援、家族支援、移行支援、地域支援、それぞれについて具体的な支援目標を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		日々のミーティングで活動プログラムを企画、立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		音楽・アート・クッキングに特化した様々なプログラムを用意している		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		状況に応じて、個別活動、集団活動を日々の療育で行っている。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎朝のミーティングで当日の支援内容についての確認を行っている	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後は、その日の振り返りを行い、気がついたことを共有している	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日、支援終了後に日々の支援内容について記録している	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		定期的なモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っている	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		子どもが意欲的に取り組める活動を提供し、創作活動では、表現できる喜びを体験して豊かな感性を養います	
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		事業所での過ごし方は、子どもが自由に選択できるように工夫している	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		サービス担当者会議では、児童発達支援管理責任者が参画している	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		地域の関係機関と連携して支援を行うようにしている	まだ連携先は少ないので、今後さらに連携を深めていきたい
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、学校と情報共有を行っている	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		必要があれば、情報共有している	
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		要望があれば、情報提供できる体制は整えている	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			地域の児童発達支援センターと今のところ連携する機会はないは、今後検討していきたい
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		児童館や学童クラブと児童の送迎時等に情報交換している。	一緒に活動する機会は、今のところほとんどないので、今後検討していきたい
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		地域の福祉協議会には参画している。	今のところ、あまり積極的には参加できていないので、今後もっと参加して交流を深めたい
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時、面談時に日々の様子を伝え、情報共有している。また、必要に応じて随時連絡をとっている。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		支援の様子を見学してもらい機会や、保護者も参加できるイベントを開催している。	保護者が参加できるイベントをさらに充実させたい
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		入所契約の際、十分な時間をとって、説明している	
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		面談、書面で保護者のニーズ、希望の聞き取りを行い、それに基づいて支援をしている	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		面談では、個別支援計画を見ていただきながら説明し、同意の署名をいただいている	
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		家庭から相談があったときには、相談の機会を設け、アドバイスを行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会向けのイベントを開催したり、親子で参加できるイベントを実施したりして、保護者同氏が交流できる機会を設けている	今後も保護者が参加しやすいイベントを開催し、交流できる機会を増やしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		保護者からの苦情があった時には、迅速、適切に対応し、職員にも共有している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HPやSNSで日々の支援の様子を発信している。行事予定についてもSNSを活用してお知らせしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報については厳重に管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		こどもの特性に応じて、伝達方法を工夫している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		発表会や展示会には地域住民にも自由に観覧していただくよう案内している	地域住民を招待できるコンサートなどの開催を検討している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルを策定し、定期的に訓練、および委員会を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPの策定を行い、備蓄品の確認や訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		フェイスシートを使用して、服薬状況等申告していただいている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		医師の指示がある場合は、対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、必要な項目について情報共有している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		安全確保について、家族と連携し、必要に応じて都度相談の機会を設けている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットがあれば、書面で記録を残し、再発防止に向けて改善策を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置し、年2回以上研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		虐待防止とあわせて、身体拘束についても委員会を設置し、研修を行っている。やむを得ず身体拘束を行うケースは今のところ発生していない		